



5:19 イエスは彼らに答えて言われた。「まことに、まことに、あなたがたに言います。子は、父がしておられるを見て行う以外には、自分から何も行なうことはできません。すべて父がなさることを、子も同様に行なうのです。

5:20 それは、父が子を愛し、ご自分がすることをすべて、子にお示しになるからです。また、これよりも大きなわざを子にお示しになるので、あなたがたは驚くことになります。

5:21 父が死人をよみがえらせ、いのちを与えるように、子もまた、与えたいと思う者にいのちを与えます。

5:22 また、父はだれをもさばかず、すべてのさばきを子に委ねられました。

5:23 それは、すべての人が、父を敬うのと同じように、子を敬うようになるためです。子を敬わない者は、子を遣わされた父も敬いません。

5:24 まことに、まことに、あなたがたに言います。わたしのことばを聞いて、わたしを遣わされた方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきにあうことがなく、死からいのちに移っています。

5:25 まことに、まことに、あなたがたに言います。死人が神の子の声を聞く時が来ます。今がその時です。それを聞く者は生きます。

5:26 それは、父がご自分のうちにいのちを持っておられるように、子にも、自分のうちにいのちを持つようにしてくださいましたからです。

5:27 また父は、さばきを行う権威を子に与えてくださいました。子は人の子だからです。

5:28 このことに驚いてはなりません。墓の中にいる者がみな、子の声を聞く時が来るのです。

5:29 そのとき、善を行った者はよみがえつていのちを受けるために、悪を行った者はよみがえってさばきを受けるために出て来ます。

ここに御子イエスと御父との一体が表わされています。その一体は愛と信頼の関係であることが分ります。最も権威のある神そのものである方が、御父に対して「子は、父がしておられるを見て行なう以外には、自分からは何も行なうことはできません。」と、全くの服従と謙遜を貫かれます。ここに権威があるのです。

神を知らない人々の権威は、自分の思い通りにできる力と考えます。しかし、本当の権威とはイエス様のように神に服従することなのだと知りましょう。私たちはその点で思い違いをしてはいけないでしょうか。仕事において、子育てにおいて、友人関係において考えてみましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？